



71年の フリーハンデ

四歳馬

抜け出た三頭

—— 71年のフリーハンデをお願いします。最初に四歳馬ですが。

吉田 上位は関西馬独占と見ます。ヒカルイマイ、ニホンピロムーテ、スインホウシュウの3頭。

—— そこで45年のタニノムーティエ、ダテテンリュウ等とくらべて、いかがでしょうか。この年の四歳は古馬と闘っていい競馬していたが。

藤田 ヒカルイマイはかなりなものと評価していますが、それ以下が離れ過ぎているようだ。



出席者

吉田 彰(本部) 西田秀夫(栗東)
藤田明徳(〃) 田中邦夫(〃)
寛 邦男(〃) 各務富也(〃)
堀尾 充(東京) 柴田 裕(〃)
近藤俊輔(中山)

司会／編集部

吉田 ダテテンリュウが菊花賞の後、有馬記念で好勝負した。イマイにあの芸当ができたかどうか。

田中 中京の金鯱賞でスインホウシュウが、古馬に勝った。これを見て四歳馬を心強く思ったが。

近藤 関東については、四歳は古馬にくらべて差があった。

藤田 六歳主体の古馬であったことは確かだ。

—— 五歳の上位が全滅したというところで、内容がお粗末だった。では昨年の四歳のトップは。

藤田 ヒカルイマイだ。均量は45年のタニノムーティエと同じ63*でいい。

田中 関西側は62*としている。春の重賞路線を比較すると、ムーティエは華やかだった。その道中の過

程から、1*の差をつけた。

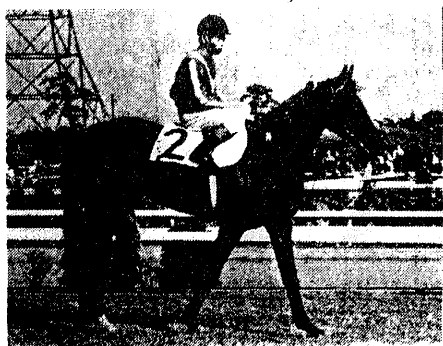
吉田 ムーティエとイマイの強さの比較では、イマイの62は妥当。それとムーティエが函館から良くなって、菊花賞まで重賞三連勝。菊の時点で、イマイとムーティエは同例とみた。

西田 皐月賞からダービーまでのあの差し脚での鮮やかな勝ちっぷりは、競って強いムーティエと違うが、同じ63でもいい気がする。

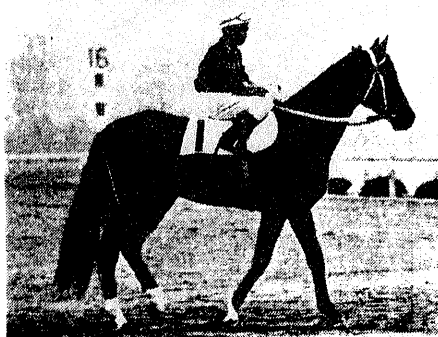
—— ただイマイはダービーまであまり人気がなかったが、ムーティエはいつも人気で走っていた。ライバルのアローエクスプレスもいて、それにも勝った。そこらが少し違うような気もするが。

吉田 ムーティエ、アローエクスプレス、クリシバ、ムサシなどの年と、総体

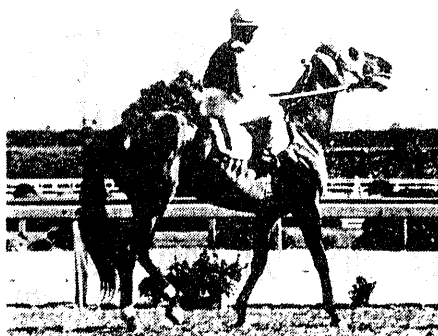
4 歳 馬



●ヒカルイマイ



●ニホンピロムテー



●スインハウシュウ

的にみてどうだろう。

藤田 2着以下はダテの年の方が強かった。レースの一つ一つにアヤがあった。ダービーで前代未聞のゴボウ抜き、というのは相手が弱かったからだ。皐月からダービーまでずっと楽勝でしたから。

田中 菊花賞でのピロムテーもそうでした。

寛 ささらぎ賞でロングワンを負かして、スプリングSが4着。そして皐月賞、NHK杯と連勝した。がダービーではダコタが本命になったりしたので、軽く見られるが、少なくとも力としては、タニノムティエと同格だと思えますが。

田中 ささらぎ賞のとき、関東からパワーエクスプレスがきていて3着した。だから関東にはパワー以上の馬が、たくさん待ち受けているという、先入観もあった。

寛 パワーも三歳時に三連勝して

いる。

田中 そこら辺が、関東に行っても、かつぎ上げられなかった原因のようだ。

寛 皐月賞ではメジロゲッコウやフィドルが、まだパンとしていた。それを見ると、やはりヒカルイマイは強いという気がする。

西田 実際、シンザン記念まではダービーを取るとは思わなかった。

藤田 攻め馬振りが、ムティエはレコード・レコードで走り、片やまるつきり走らない。そこらのところも影響しているのだろう。

柴田 なにしる地味な馬ですから各務 だが、あの勝ちっぷりからはタニノムティエと並べてもいいな。

—— ではヒカルイマイ63^キ。次はムティエでしょうか。

西田 ダテと同じ2^キ差か。

近藤 力から行けばイマイと1^キ。

差か同斤と思う。

西田 秋の走りっぷりはたいしたものだが。

吉田 しかし、秋に重賞三連勝とはいっても、イマイは二冠馬、ムティエは菊花賞が一つ。

柴田 それとムティエはダービーにも走って8着。

各務 京都新聞杯では、イマイの具合が悪いといっても、それほど惨敗でもなかった。

西田 2^キの差があっても、いいような気もするが……。

吉田 秋の関西での活躍では、ムティエはトップだ。

近藤 秋の充実からすれば、2^キの差はない。

田中 ダテは菊を勝ったが、その前に大敗している。ムティエは順調にきて菊花賞に勝った。イマイとそう差はない。ダテの有馬記念での好走は引っ掛かるが、ムティエも出て

ればどうなったかわからない。

柴田 春のダービー前に、毎日杯も勝っている。

—— 1^キ差の62^キ。

西田 スインハウシュウが三番手ですか。ムティエには三たてを食っているが、逆に古馬と競馬して勝った。

各務 中京の金鯱賞と暮の阪神大賞典に楽勝した。

寛 ダービーに東上する前、五連勝してきていますね。

西田 弱いとこ弱いとこ走ってましたけど。

吉田 大賞典は逃げ切りでした。

西田 このレースがまた、四歳馬と六歳馬の競馬でした。

吉田 でも前の二頭に比べると、年間通じての活躍も少し落ちるよう

だ。

堀尾 やはり一枚下です。

各務 ムティエには一度も勝てなかったのだから、二^キ下の60では。

寛 でもレコードは二つ持ってるんですね。

柴田 中京の千八が48秒3、阪神の千六が35秒0。

寛 もっとも三歳が35秒1で走ってますけど。

田中 二頭より肩書きも劣る。

堀尾 ムティエより2^キ下がいいとこじゃないですか。

藤田 そうですね。

—— 上位3頭は関西馬で決まりましたが、あとは東西ともかなりの差があるようです。

吉田 続くのはヤシマライデン、フィードル。

寛 オンワードガイ、ベルワイド

堀尾 あとメジロゲッコウですか

田中 そのあたりが、フィードルに並ぶかどうかだ。

—— 皐月賞前には、ライデンが京成杯、トキノミノル記念、ゲッコウが弥生賞、スプリングSと連勝した。この辺の評価は。

吉田 同じような経過だ。

堀尾 秋のセントライトがベルワイドだ。

近藤 かなり目方を下げなけりや。

吉田 ライデン58。ゲッコウ、フィードル57としたが。

藤田 ゲッコウを一番上にみても3⁺差はあるでしょう。

堀尾 ゲッコウ、ライデンの差はない。

—— そうすると、このクラスは57でしょうか。

近藤 そのくらいですね。

藤田 オンワードガイは、菊花賞でも一応3着しているので、上に見てもいいんでは。

吉田 札幌のオープンに確かに勝ったが、ライデン、ゲッコウは重賞2勝している。

堀尾 しかし、ガイは春の調子はよくなかったんでしよう。

西田 年間通じればライデン、ゲッコウの方がガイより上だ。

藤田 しかし勝ったのは本番前で本番はダメでしたから。

吉田 秋に走ったのにベルワイド

がいる。

寛 ベルワイドは、ダービー6着で割合ソコソコに来ている。

近藤 ガイと並べて4頭が57⁺か

堀尾 オンワードガイは菊花賞3着だが、タイトルは一つもない。

西田 ガイは一つ下の56。フィードルと並べていい。

—— ハーバーローヤルはどの辺に。

寛 ダービー2着はかなり評価できるが。

田中 だが何も勝っていない。フィードルと並べるか下だ。

田中 かつてダービー2着して、他に何も勝たなかったが、かなり高く評価した例もある。

近藤 ローヤルはフィードルと並べていい。

—— では57⁺がベルワイド、ゲッコウ、ライデン、56⁺がオンワードガイ、フィードル、ハーバーローヤル。

—— 55になります、そろそろ牝馬は。

吉田 ナスノカオリは文句のないところ。桜花賞に四歳牝特。

田中 オークスのカネヒムロは、ドロコン馬場でした。

堀尾 カネヒムロは男馬に入っても、いい競馬をしたから、これも入っている。

田中 あとはビクトリアCのタイヨウコトブキ。

柴田 ビクトリアCは、かなりの評価ができる。

各務 56⁺で阪神牝特にも勝った。

藤田 この三頭の55⁺は当然。

—— 男馬の55⁺は。

堀尾 男馬は一頭もない。(以下略)

古馬

トウメイは戦後最高の牝馬

—— 古馬に入ります。

吉田 頭はトウメイ、メジロムサシで、同斤の63⁺とみた。ところがムサシは有馬記念で惨敗した。それにトウメイの戦績が良過ぎる。

田中 トウメイは阪急杯のドロコン馬場で、58を背負って勝った。

西田 東はムサシが最高。目方も62⁺の函館記念で勝った。西はトウメイで、天皇賞と、アカネテンリュウ、メジロアサマの抜けた有馬記念だが、連覇したのは立派だ。

田中 ムサシがトップと思うが、トウメイの上にはならない感じだ。

藤田 マイラーズCの時は、ダテテンリュウ、タマホープという一線級を、まとめて面倒みている。

—— 過去のフリーハンデで、最高の評価を受けている牝馬は、39年のトーストの63⁺です。金杯、毎日王冠、中山記念、アルゼンチンに勝って、天皇賞、有馬記念ではヤマトキョウダイの2着でした。

西田 トウメイが目方を背負える

のは確かだ。東タイ杯では、牝馬が相手とはいえ59⁺で楽勝だった。

田中 トーストから考えれば、これは大変なことだ。何年に一回という歴史的なものになるから、無視はできない。

吉田 45年のシンボリが65、44年のタケシバオーが65の評価を受けている。

—— ムサシの成績を調べてみると、随分とムラがある。

近藤 ムサシとトウメイは1⁺の差はあるかもしれない。やはり単独ハンデ頭だろう。

田中 トーストと比較すれば64。

西田 45年のアサマが重賞3勝で62。トウメイは7勝して重賞が5回。64の単独トップは間違いないところだ。

—— 牝馬がトップ・ウェイトとなったのはこれがはじめて。それで思うのだが、これまで女傑といわれた戦後の名競走牝馬たちとくらべてトウメイの評価は……。

吉田 戦後の名牝という、たくさんいるが、ミスオンワードとか。

西田 ミスオンワードも男馬と競馬するようになってからは、目黒記念に勝っただけですね。

堀尾 ガーネットは天皇賞、有馬記念に勝った。

近藤 スターロツチが有馬記念。

—— ガーネットの時は男馬が不作でしたね。オーテモンあたりが人氣になった。

寛 クリヒデも天皇賞を取った。

田中 比較するのはむずかしいが、比較するなら天皇賞、最近では有馬記念が基準になります。

吉田 ともかく戦後、トウメイほどの成績を上げた馬はいない。戦後最高の名牝でしょう。

近藤 最近馬数も多くなり、質も向上しているし。

田中 それにしても有馬記念が借しまれる。テンリュウ、アサマ等と元気に競馬をさせたかった。

藤田 それで勝てばなお立派だった。

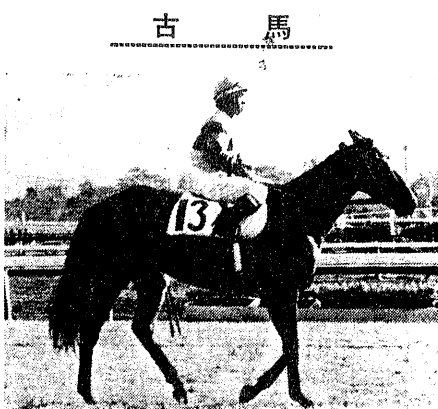
田中 それに四歳のタイトルが一つあれば、文句の付けようはない。

堀尾 それにしてもオークスは、つまらない競馬をした。

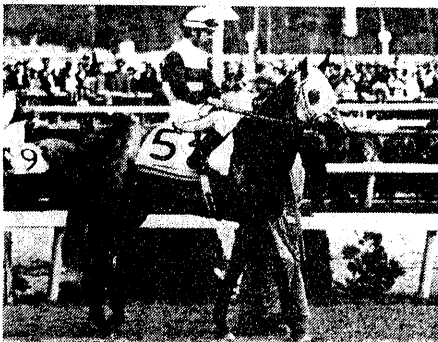
藤田 本当に惜しまれる。

吉田 東タイ杯でも59^{*}。最近、あれだけの重量を背負って楽勝した牝馬はいない。

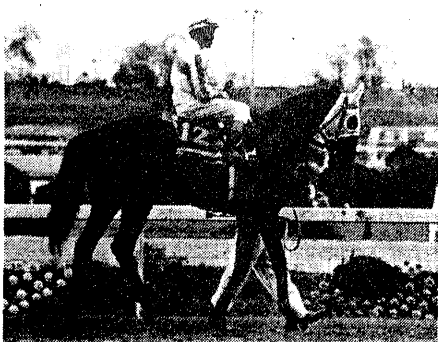
トウメイは戦後最高の牝馬



●トウメイ



●メジロアサマ



●メジロムサシ

ということでしょう。

——では話をもどしまして、ムサシ、アサマは。

西田 ムサシは63。アサマは一つ落ちる。

吉田 アサマ、アカネテンリュウは並ぶか。

藤田 テンリュウは人気になるだけだ。アサマとムサシの対戦成績は。

——2勝1敗でムサシ。

寛 春はアサマが重くて敗け、秋はムサシが上で敗けた。

藤田 軽いのが、いずれも勝った。寛 目黒がムサシ55アサマ61。宝塚は55対56でいずれもムサシ。

柴田 ハリウッドでは60対56でアサマ。

田中 重量の一番接近している宝塚記念では、クビ差。二頭は並べるべきだ。

堀 アサマは62で、2回やり勝て

なかった。ムサシは62で勝った。

藤田 だが、ムサシも63では動かなかった。

堀尾 重賞も4つと2つでムサシが上。

近藤 だが、どっちがどっちともいえない。

西田 それに天皇賞に走った時期も違っている。

田中 宝塚では、両馬とも最高の状態だった。しかも一^{*}差でクビの勝負だ。

近藤 同斤量でいいと思う。

——ではムサシ、アサマ63^{*}。堀尾 次はアカネとアポスピードだが、60ぐらいでは。

吉田 メジロと3^{*}差はあるかな。

西田 2^{*}差ぐらいだろう。3はない。

堀尾 アカネ61のアポ60か。

藤田 目黒でアカネ60、アポ61で

アカネが1/2勝った。甲乙は付けがたしい。

——では並べて61^{*}。

堀尾 この下は、スピードワンダーだ。2^{*}差の59か。

近藤 2^{*}差はない。秋の天皇賞2着が光る。

各務 春は4着になっている。

寛 ダイヤモンドSも勝ち、その他の重賞レースもソコソコ走っている。春秋通して。

——ではスピード60。

堀尾 ついで、コンチネンタル。

西田 関西で重賞2勝。

各務 有馬でも2着した。田中 とにかく関西では勝てる馬がいなかった。スピードの1^{*}下の59でいい。

西田 次は金杯と大阪杯のケイタカシが58になる。

各務 ケイタカシは重賞では着外がない。

田中 大阪杯では千九を1分54秒7のどれくらいレコードを作った。

近藤 コンチとは1^{*}差はある。

実際に京都記念で58と57の一^{*}下で敗けている。コンチより1^{*}下の58だ。

藤田 次はダイシンボルガードか。

田中 西ではシンサクオーが続く。高松宮杯でムサシに勝った。

吉田 ダイシンは何も勝っていないが、天皇賞で好走した。シンサク、ダイシンを並べて57^{*}だ。

——次は56^{*}。

※は牝馬
★は父内国産

— 47 —

三歳馬

寛 牝馬のジョセツが入るだろう。重賞3連勝だ。2つはローカルだが、1勝は相手に恵まれたとはいえ、東京のダービー卿で完勝した。

堀尾 いいだろう。

吉田 あとはローカル組ともいえる、パールトン、トキノシンオーあたりか。

藤田 ダッシユリユーはどうだろう。

近藤 福島記念にレコードで勝ったが、一つ落ちる。55に入りたい。

藤田 クモハタと関屋記念のトウショウピットは資格十分だ。

西田 関西では故障がちではあったがタマホープ、ダテテンリユウ。

田中 もう一頭、春の天皇賞で期待できるキームスビィミーがある。

(以下略)

東はトモエ敗れて中心馬なし

最後に三歳馬ですが、西が

ヒデハヤテ、東は朝日杯のトクザク

ラか、朝日杯で敗れたとはいえ、新馬、函館3S、北海道3S、白菊賞

と四連勝したトモエオーか。

田中 関西のトップは阪神3Sを含めて、5戦4勝のヒデハヤテの56にした。

藤田 関東は朝日杯のトクザクラがトップか。

吉田 朝日杯に敗れたとはいえ、やはりトモエオーがトップだろう。

堀尾 だが西のヒデハヤテが56なら、トモエオーは一つ下の55にな

る。

吉田 45年のトップがオンワードガイで55だ。それなら46年のトモエオーは、ガイよりも強く内容もいい。55にはできない。

西田 ヒデハヤテの56は、タニノムーティエやロングワンの56から出したものだが、とにかく時計がいい。

過去の最高はキタノダイオ

ーの57。

田中 トモエオーを56として、1つ上にヒデハヤテ57とはできない。

ダイオーはとにかく別格だったのだから。

堀尾 そうするとやはり、トモエオーはオンワードガイと同じになるが、55でやむをえない。

藤田 肝心の朝日杯で牝馬に敗けたのが残念。戦績は両馬とも5戦4勝だが……。

近藤 ヒデハヤテの1*下の55だろう。

では、トモエオーに勝ったトクザクラは。

寛 トモエオーより下にはこない。並べるか上だ。

堀尾 だがトクザクラもヒデハヤテには並べない。トモエオーと同じ55だ。

寛 トクザクラは中央場所、京成杯3Sと朝日杯3Sに勝ってるが。

吉田 白菊賞では逆に、トモエオーの4着に敗れた。

近藤 1勝1敗。

藤田 45年も、朝日杯勝ちのオンワードガイと、朝日杯は敗れたがそれまでの戦績から、ヤシマライデンと並べて55にした。

西田 それよりもロングワンは、一枚上ということで56になった。

近藤 2頭は55で並んでいいと思う。

では関西の55*は。

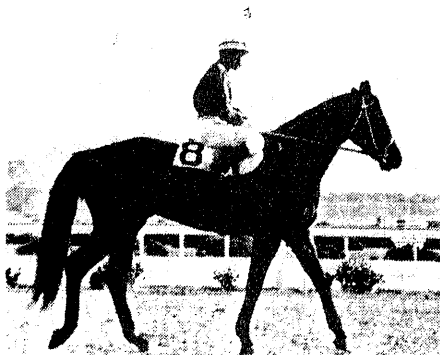
各務 デイリー杯3S勝ちのフクリュウヒカリ。牝馬の桜花賞候補のシンモエダケ。それとライリユウシンゲキが入る。

クラシックのシンモエダケ、トクザクラの対決は、おもしろいものになりますね。

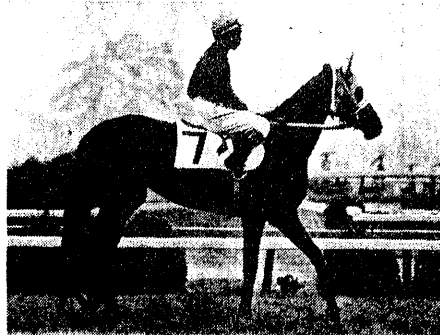
田中 パーソロンかシプリアニかということでも……。

(以下略)

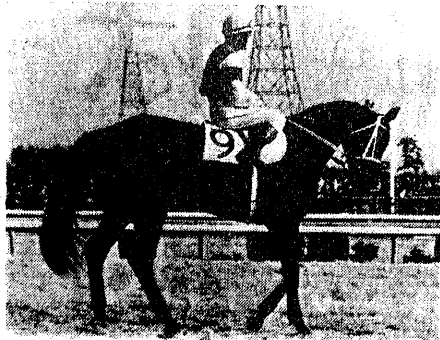
3歳馬



●ヒデハヤテ



●トクザクラ



●トモエオー